

Suma Tomogaoka 通信

兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和2年度 第2号 7/30

36 回生（3 年次） 課題研究プレゼンテーション発表

昨年一年かけて行った「課題研究」ですが、そのゼミ内発表を 7 月 27 日（月）、29 日（水）に実施しました。休校期間が延びていったときには、発表自体が出来るのかも危ぶまれましたが、さすが 3 年次生、スライド原稿に取り掛かり始めると、限られた時間の中でサクサク作成していく様子が頼もしかったです。

改めて論文を読み返したり、聴衆への伝わりやすさを意識して言葉や図表に工夫を凝らしたりして作ったスライド原稿を使った発表をしましたが、発表を通して、言いたいことがより明確になったようです。この発表を以て、課題研究は完了することになります。

この発表を元にゼミ代表を決定し、2 学期当初に全体発表を行います。各ゼミの個性的な研究が一堂に会するのを見られるのは、この時だけ。3 年次生たちにとっても楽しみなことでしょうが、教員も期待しています。

生徒の感想より…

- 調べた内容だけでなく、自分の予想もたくさん入っていて面白かった。
- 図・イラストを多く使っていて、分かりやすいスライドだった。私たちが知っているものを例として取り上げていてとても分かりやすかった。私たちがこの問題について取り組むことが出来る方法も紹介されていてよかった。
- 内容を理解しやすいように話し方を変えていたので分かりやすかった。たまに文字と背景の色が被っていて少し見にくかった。

38 回生（1 年次） 産業と社会一選択ガイダンス

6 月 26 日（金）に、「産業社会と人間」の授業の一環で、1 年次生向けに系列選択ガイダンスを行いました。現在の社会は先が見通せない社会と言えます。一体どれだけの人が、この新型コロナウイルスの世界的な流行を予見できたでしょうか。1 年先にどのような生活が待っているのかを予測できるでしょうか。このような突発的なものは予想できなかったとしても、約十年前に初代 iPhone が世に送り出され、今や誰もがインターネットに接続できる世の中になりましたが、次の十年の先に待っているのがどのような社会かを言い当てることができる人はどれくらいいるのでしょうか。少し前に当たり前だったものが、すぐに時代遅れになるような激動の社会を生きる上で求められるのが、課題発見力・解決力、批判的思考力、コミュニケーション能力やメタ認知能力といった社会汎用的な力、いわゆる「21 世紀型スキル」です。

2 年次から行う「課題研究」では、これらスキルを身につけることを目的としています。学問の特性上、「国際・社会」「人文・教育」「情報・科学」「医療・保健」「くらし・生活」「芸術・スポーツ」の 6 つの系列に分けて、それぞれの系列で身につけてほしいスキルを定義していますが、目的は等しく自己実現に向かう力の獲得です。『自分は〇〇系列でないとダメ』と決めつけることなく、柔軟に選択をして欲しいです。1 年次生にもう一つリクエストしたことは、いま使っている教科書を批判的に読み、課題研究のテーマの種を探しておいて欲しいということです。来年始まる課題研究が実り多いものになることを期待します。



本校の特色ある授業紹介

「子ども文化」

「絵本の読み聞かせ」の事前指導として外部講師（須磨区図書館司書）2 人をお招きして、絵本の歴史についての講義と技術指導（読む練習）を体験しました。9 月以降の保育園訪問では、自分で手作りした絵本を持参し、園児に読み聞かせをする予定です。生徒たちは、デザインやアイデアを工夫しながらオリジナルの絵本作成に取り組んでいます。



「異文化理解」

イラン人のナヒド氏を外部講師としてお招きし、イランの歴史や文化についての講義とペルシャ書道を体験しました。ペルシャ書道体験では、竹で作られた筆を使って生徒それぞれの名前をペルシャ語で書くという活動を行いました。慣れない筆に悪戦苦闘しながらも、ナヒド氏の丁寧な指導の下、最後は美しく名前を書くことができました。



「看護とケア」

この日は「バイタルサイン」についての授業が行われました。「バイタルサイン」とは、人間が「生きている」ことを示す指標のことで、「脈拍」「血圧」「呼吸」「体温」を指し、「意識」の観察も同時に行います。生徒たちは、お互いに測定をし合いながら、患者さんのケアに必要な基礎知識・技術を学びました。



「スポーツ医療と栄養」

授業では、スポーツ障害のおこる仕組みや予防法、治療法を学んでいます。この日は、今までに習った「体の構造」や「姿勢バランスストレッチ」についての実技テストが行われました。骨格模型（太郎くん）で「〇〇はどこでしょう？」という質問に答えたり、指定のストレッチを行いました。生徒たちは専門的な作法や知識を身につけていました。



ミニ体験授業

7 月 1 日（水）から 3 日（金）の放課後に、来年度の科目選択を控えた 1・2 年次生を対象に、ミニ体験授業が行われました。総合学科の特徴でもある多様な選択科目の中から、「クラフトデザイン」や「劇表現」といった特色ある科目が紹介された生徒たちは体験活動や実習を通して、各科目の魅力や特徴を知ることができました。



部活動成績報告

「書の甲子園」（第 28 回国際高校生選抜書展）において、書道部員の 3 年杉本綾香さん、3 年福本なぎささんが入選しました（約 1 万 4 千人の出品者の中から約 2 千人の入賞入選数の展覧会です）。2020 年 1 月 28 日～2 月 2 日までの会期を終え、本校に作品が戻ってきましたので、コモンスペースに展示しています。本校にお寄りの際は、ぜひ、ご覧ください。



生徒会選挙

7 月 16 日（木）4 限目に、生徒会長・副会長立候補者立会演説が行われました。新型コロナウイルス対策のため、放送での演説となりましたが、各候補者は友高の未来を担うべく、しっかりとした意見や抱負を語ってくれました。応援演説も含めスムーズに進行され、演説の後各クラスで投票、即日開票されました。新会長・副会長は以下の通りです。新執行部の活躍を心より期待しています！



生徒会長：松浦聲音（2 年 1 組） 副会長：板谷海空（2 年 4 組）・田村日香莉（2 年 3 組）